



ニュース&トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

9月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングルスタッフにお声がけください。

ご意見・ご感想をお寄せください

第19回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお祈りします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

夏を 惜しむかのようにひぐらしの鳴き声が聞こえてきます。お元気で過ごしのことと思います。夏休みには、ご家族の楽しい思い出をたくさんお作りになったことでしょうか。夏休みもそろそろ終盤、宿題の進み具合はいかがですか？

ニュースレター第19号をお届けします。今回もお楽しみいただければ幸いです。

暦の上では秋とはいえ当分は厳しい残暑が続きます。どうか体調にはご注意ください。

日常を楽しむためのスパイス - 『遊び心』のススメ

静岡大学教職大学院 講師 村上広美

私事 ですが、2月に第一子を出産しました。子育ての大変さと喜びを体感し、世のお母様・お父様方に、改めて尊敬の念を抱く日々です。

さて、子ども達が夏休みを迎えたなか、皆さんは日中をどのようにお過ごしでしょうか？私はせっかくの育休中にもかかわらず、連日の猛暑とコロナの増加で、家で過ごすことが増えてきました。一日中家にいると、遊びも気持ちもマンネリ化し、せっかく時間があるのに、なんだかもったいない一と感じてしまいます。そんな我が家のスパイスになっているのが、「なんでも楽しむ」がモットーである夫（育休中）の“遊び心”満載の言動です。家事や筋トレの様子を大袈裟にプレゼンし（息子大爆笑）、おむつ替えから逃げだす息子に面白おかしく実況中継をつけ、息子が大泣きすると「泣き声選手権優勝！」と褒めちぎる…など、夫の“遊び心”にかかれれば、なんでもない日常や困った場面が、一瞬で遊びに変身します。



子どもにとって遊びは、心身の発達を促す役割を持つと共に、とても大切なコミュニケーションの手段です。子どもたちは、遊びを通して、自分の身体に気づき、他者を認識し、動きや言葉を獲得し、誰かとやりとりをする楽しさを学んでいきます。遊びの形は、年齢によって変化していきますが、遊びが重要なのは年齢が上がっても、極端な話大人になっても同様です。小さい頃であれば、歌遊びや身体遊び、感覚遊びなんかが定番ですね。もう少し年齢が上げれば、ままごとや虫とり、



『エリマキトカゲの闘い』トライアングル通所、中学2年生制作作品

サッカーや野球などのスポーツ、ボードゲームやテレビゲーム、好きなゲームや漫画について友達と語り合うことだって遊びの一部です。大人がお酒を飲んで楽しむのも、大切な遊びですよ。ね。「何かして遊ばなきゃ」と思うと窮屈に感じてしまいますが、実は私たちの生活は遊びに溢れています。この遊びのとても良いところは、何より「楽しい」ことだと思います。

親子の会話ややりとりも同じです。こちらがほんの少しの“遊び心”を持つこ

とができれば、なんでも遊びに、楽しいことになり得ます。子どもと一緒に家の中を歩き回る“お家探検隊”も立派な遊び。子どもとの言い合いや言い争いも、こちらの気持ちの持ちようでも“言葉遊び”にできるかもしれません。…とはいえ、慌ただしい毎日の中で、しかも我が子に対して、“遊び心”を維持するのは容易ではありません。その点、トライアングルには、“遊び心”をもった素敵なスタッフがたくさんいます。第三者だからこそ提案できる視点を参考に、改めて我が子との日常を楽しんでみてはいかがでしょうか？



スタッフ紹介



木村 彩香 先生

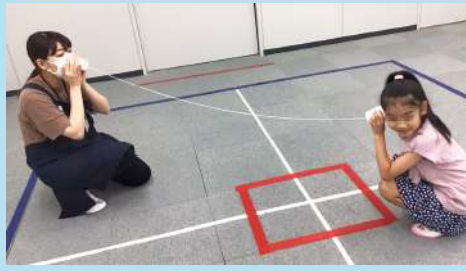
好きなこと：寺社巡りや城巡りが大好きです。今はコロナ禍で行くことができなくなったので歴史書や美術館で刀剣等の美術品を見たり、家で大河ドラマを見るなどして過ごしています。コロナ禍が明けたら友人と旅行に行こうと話をしています。

やりたいこと：美術館に行って、美術品を見てから自分も何か作ってみたいと思うようになりました。以前ハンドメイドのアクセサリー作りをやっていた時期もあるので、また自粛期間で再び趣味の中に取り入れてみようかと思っています。

一言：個別・集団と両方で子どもたちを見ることができています。その環境を生かして、子どもたちが、将来社会に出るために必要な人との関わり方をサポートしていきたいと思っています。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



紙コップに糸をつけ、絵を書いたらオリジナルの糸電話が完成！「もしもし〜？聞こえますか？」



風船に自分の名前や好きなキャラクターを書いて披露。みんなテンションMAXで、とびきりの笑顔が見られました。



立体的な恐竜を作るため、手元のパーツとハサミに全集中。みんなかっこいい恐竜を作るうと一生懸命でした。



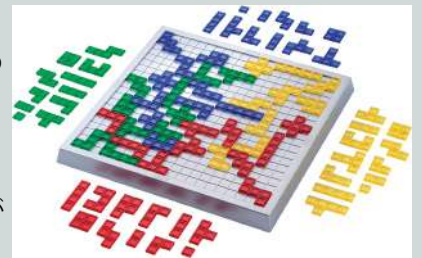
落ちないように慎重に歩いたり、やる気満々で靴下を脱いだりのサーキット遊び。何度も挑戦する姿が見られました。

子育てのヒント 不安で学校に行きたがらない子

理由 に一貫性がなくても、嘘と決めつけるのは禁物。それぞれの理由が影響しているけれど、どれも核心ではなく、お子さん自身もはっきりとした原因がつかめていない可能性もあるからです。このような時は、学校での様子（授業・部活・友人関係など）を先生に伺ってみましょう。学校では楽しく過ごしているように映っているケースもあります。どちらの捉え方が正しいということはありません。どちらもその子の姿だととらえましょう。**1. 不安が強い子は『先を予想する力』がある子です。**このようなお子さんは、様々なことをイメージできるため不安が強くなってしまふのでしょうか。不安とうまく付き合っていくことも必要です。**2. 根拠のない励ましは効果がありません。**『大丈夫だよ』『心配ないから』などという励ましでは不安を取り除くことはできません。**3. 不安と上手に付き合う方法を一緒に考えてあげましょう。**不安が漠然としていると克服することができません。まず、不安を5段階程度に階層化して、不安の低い課題からクリアしていきましょう。数値化することで、前向きに取り組むことができるようになります。

スタッフのオススメゲーム『ブロックス』

ブロックスは、2~4人のプレイヤーがボードのマス目に各色21個の形の異なるピースを順番に置いていくフランス生まれの陣取りゲームです。マス目が埋まった時点で、一番多くのピースを置いた人が勝者となります。手持ちのピースは色が違うだけで全員が同じ形・同じ数。各々がマス目を埋めるように置いていくため、面積が狭くなると置けない形が出てきます。勝つためには、手持ちのピースは置きやすく、相手のピースは置きにくいように戦略的に置いていく必要があります。先を読む力が重要となります。ゲームを通して、戦略を練ったりコミュニケーションをとることが前頭葉の活性化に繋がると考えられ、スマホゲームとの脳の血流量の比較では、ブロックスで遊んだ時の方が時間を追うごとに血流量が増えるという結果が出ました。プレイ時間は15分~20分程度。短い時間でも気軽に遊ぶことができます。また、ルールがとてもシンプルで覚えやすいので、家族みんなで楽しめますが、シンプルだけでなく奥が深いからハマること間違いなし！



編集後記

また、悪夢が目覚めた。私は、高校生の時に2年間ヴァイオリンを学び、たいして練習したわけでもないのに得意の一夜漬けで音大に受かった。しかし、音楽の道は甘くはなく一夜漬けは通用しなくなっていく。でも癖は抜けないもので、試験の直前まで専攻とは関係ない指揮に夢中になり、コンサートを開くための編曲や合唱団の指導に明け暮れた。必死になって練習したのは試験の2~3週間前。この時の焦った思いが悪夢となって今も襲ってくる。この仕事も一夜漬けでやっているのって？…… (M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp